サーキュラーエコノミーへの移行促進に向けた静脈産業のDX推進について

施策を巡る状況

- ✓ 持続可能な資源利用の実現には、従来の3Rを超えたサーキュラーエコノミー(CE)への **移行が不可欠**。排出事業者側でも、リサイクルの高度化やCO₂削減、トレーサビリティ など新たなニーズが発生しており、静脈産業の果たすべき役割が増大
- ✓ これらのニーズへの対応や、社会システムとしての廃棄物処理システムの維持には、 静脈産業のDX推進が有効。DXにより廃棄物処理の合理化・高度化を図り、CEを進める ことが重要



✔ 都はこの間、静脈産業におけるICT技術等の活用に係る実証事業を実施。廃棄物処理・資源循環にDXサービスを 提供する事業者は増えつつあり、この機を捉え静脈産業と連携し業界全体のDXを推進するとともに、CEへの移行 促進の仕組みを構築する必要

取組の方向性

静脈産業のDX推進とCEへの移行促進に向け、新たに4つのActionからなる施策パッケージを展開

Action1

資源循環情報共有のためのシステム整備

- リサイクル可能品目や環境性能等、静脈産業各社の**資源循環に** 資する情報を集約化したデジタルツールを構築
- 2024年度~ 基礎調査、基盤整備開始
- リサイクルやCO2削減を進めたい排出事業者や、リサイクル 素材を調達したい動脈産業と、静脈産業をつなぐ「マッチング コーディネーター制度 | (仮称)を創設
- 2024年度~ 基礎調查、制度設計検討開始

Action3 マッチングコーディネーター制度の展開

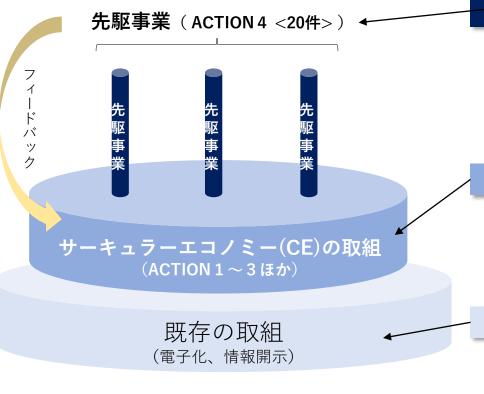
Action2 都優良認定制度の充実

- 都優良認定制度に、新たに3RやCO2削減等を評価するための 認定基準の追加等、定期的見直しを実施
- 2024年度~基礎調査、制度設計検討開始
- 静脈産業事業者が行うDXを活用したCEに貢献する新たな事業 構築の取組を補助し、先駆的事業者を育成
- 事業期間:2024年度~2026年度

Action4 資源循環・廃棄物処理のDX推進事業(補助)

今後の施策展開の全体見取り図 都が取り組む4つのAction -

4 つのActionと既存の取組をあわせた3階層で相互連携を図り、各施策を総合的に推進



3階(個社の取組)→トップランナー企業と共に先行事例を創出

業界をリードする都優良認定事業者(取得見込み含む)のうち、取組 素地と意欲を有する企業に対して補助を行い、

- 業界にビジネスモデルの具体的な将来像を提示し、取組を誘導
- フィールドでの成果を踏まえ業界のDXのあり方議論に反映
- 先行事例として経験・ノウハウを蓄積

等を目指す

2階 (業界全体を視野に入れた取組) → 今後、要件・範囲等を設計

業界全体のDXのあり方を整理した上で、以下の取組を実施

- 資源循環に資するデジタルツールの整備
- 都優良認定制度の定期的見直し
- マッチングコーディネーター制度の展開

1階 (業界全体の取組) → 取組を着実に推進

- マニュフェストの電子化 処理業者情報の開示
- 許可申請の電子化(順次対応)

等

2024年度予算

【新規】産業廃棄物処理業の循環経済移行促進事業

0.8億円

ACTION 1~3に係る調査検討委託等を実施

【新規】資源循環・廃棄物処理のDX推進事業

ACTION 4 に係る新事業の創出補助

2.3億円